



三菱重工 業務用除湿機

UDP2W

仕 様 書

添付図面

1. ユニット外形図
室内機（プレナムチャンバ付）・・・LRJ000Z001
室内機・・・・・・・・・・・・・・・・LRJ000Z009
プレナムチャンバ・・・・・・・・LRJ000Z019
2. 冷媒系統図・・・・・・・・・・LRJ000Z020
3. 電気回路図・・・・・・・・・・LRJ000Z027

日付 2007年 3月 1日

認可	担当
	

三菱重工業株式会社

仕様書番号	訂 符	葉別	配布先	葉別サイズ
ESP-PL-6987		1 / 5	XX	A4=1-5



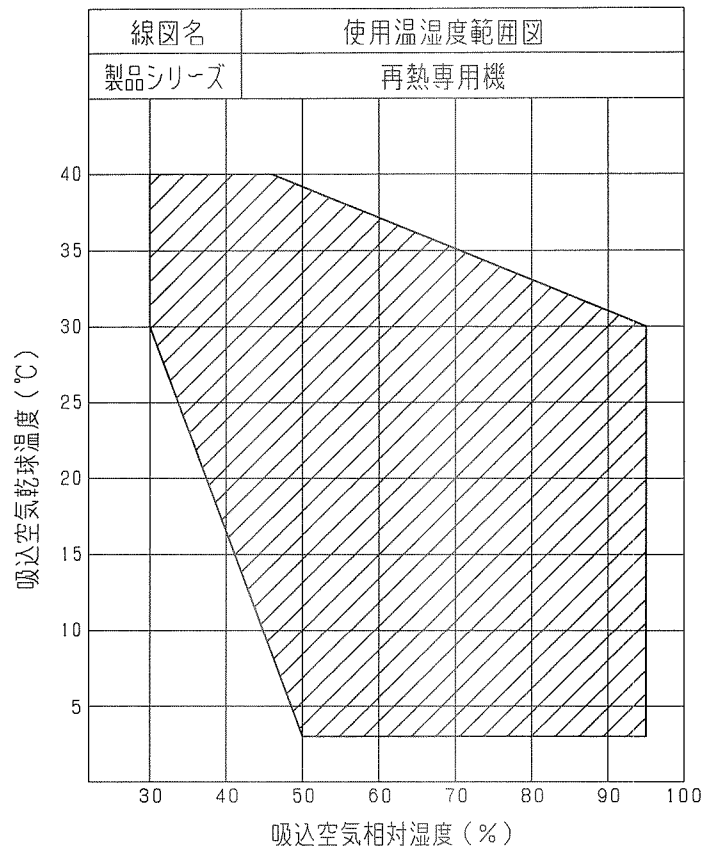
要目表

項目 (単位)		形式	UDP2W
電 源			AC3φ 200V 50/60Hz
法定冷凍能力		トン	0.61/0.73
再熱除湿性能	除湿能力	L/h	4.8/5.7
	空気条件		吸込空気乾球温度25℃, 相対湿度80%
	消費電力	kW	1.9/2.2
	運転電流	A	6.3/7.2
	力 率	%	88/89
	始動電流 (終了最大)	A	51/46
騒音値		dB	53
外 装 (マンセル記号)			ベージュ (2.5Y 8/2)
外形寸法 (幅×奥行×高さ)		mm	650×400×(1500+17)
梱包寸法 (幅×奥行×高さ)		mm	700×450×1660
冷 却	形 式	kW	G203AH-30A1
	出 力 (極数)	kW	1.5 (2)
	冷凍機油	種 類	ダフニーハーメチックオイル FVB68D
		メーカー	出光
		封入量	L
	封入量	L	0.8
装 置	クランクケースヒーター出力	kW	40
	蒸発器		多通路クロスフィン
	凝縮器		多通路クロスフィン
	冷媒封入量	kg	1.25
	冷 媒		R407C
	冷媒制御装置		電子制御膨張弁
送風装置	形式×台数		両吸込多翼送風機×1
	風 量	m ³ /min	21
	機外静圧	Pa	60/80
	電動機出力 (極数)	kW	0.15 (6)
	電 源		AC1φ 200V 50/60Hz
	エアフィルター		ロングライフフィルタ (PPハニカムh材)
空気湿度調整装置			電子式湿度調節器
表示灯 (赤)			運転一点灯, 警報一点滅
保護装置動作値	高圧遮断装置 (OFF/ON)	MPa	3.3/2.7
	圧縮機電流センサー設定値	A	13
	送風機用過電流継電器	A	-
	送風機プロテクター	℃	130/83
	吐出ガス過熱防止サーモ	℃	127
	操作回路用ヒューズ	A	5
除霜装置	動力用ヒューズ (圧縮機)	A	20
	除霜方式		ホットガスバイパス
	最短除霜周期	min	30
	最長除霜周期	min	15
	除霜開始温度	℃	-15 (蒸発器出口配管表面)
	除霜終了温度	℃	10 (蒸発器出口配管表面)
ドレン配管			PT1めす
エマージェンシードレン配管			PT1/2めす
製品質量		kg	105
梱包質量		kg	116

- 注) 1. 再熱除湿性能および電気特性は、吸込空気乾球温度25℃, 相対湿度80%で運転した場合の値を示します。
 2. 電気工事の際は電気特性の1.2倍程度を見込んでください。
 3. 騒音値は、製品正面1m、高さ1mで反響の少ない場所で測定した値 (Aスケール) を示します。
 実際の据付状態では周囲の騒音や反響の影響を受け表示値より大きくなるのが普通です。
 4. 再熱除湿運転を行なうと吹出空気温度が吸込空気より高くなります。運転状態によっても異なりますが、約10~25℃上昇します。温度上昇が問題となる場合は、別途冷房や換気を考慮してください。
 5. 本機は、モータ直結駆動式のため、機外静圧の値によって風量が変化します。



使用範囲



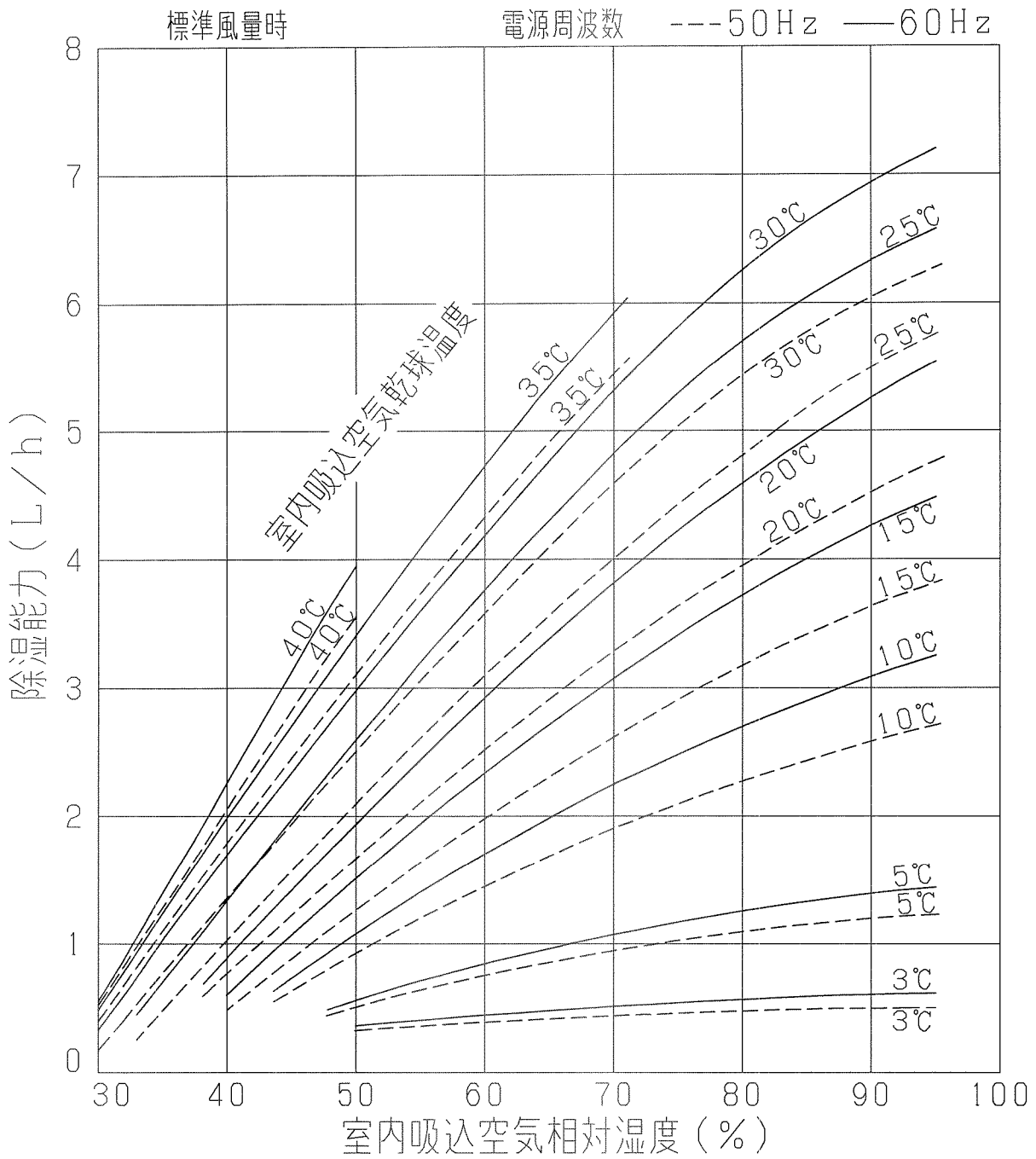
- 注) 1. 本ユニットは吸込空気温度が低下すると着霜することがあります。この場合、除霜運転と除湿運転を交互に行ないますので除湿運転時間が減少し、除湿量が低下しますのでご使用に際し注意してください。
2. 5℃以下での連続運転は2時間程度としてください。
長時間の低温連続運転を行ないますと、熱交換器へ異常に霜が付着する場合があります。
3. ユニット内の湿度調節器本体の誤差は相対湿度45%の設定値の時で±5%、ON/OFFのデファレンシャルで5%あります。
さらに、ユニット内への組み具合などを含めると精密な温度制御は難しいので、湿度設定値は一応の目安程度とお考えください。

ご使用上の注意事項

- この製品は国内向一般除湿機です。
- 食品、動植物、美術品の除湿、乾燥には対象物に適したそれぞれの除湿、乾燥手順ならびに条件を確認した上でご使用ください。
- プラスチック製品成形機などで使用される離型用シリコンガスなどが浮遊する場所への設置はしないでください。
シリコンガスなどが熱交換器フィン表面に付着すると、フィン表面が撥水状態になりドレン水がドレンパン外に飛散し水漏れの原因になったり、飛散した水分が電気品箱内に侵入し電気品が破損する原因となります。
- 電磁波を発生する医療機器などを使用するときは、ユニットの誤作動防止に注意してください。
電磁波の発信面を、ユニットの電気品箱に直接向かわない位置に据え付けてください。
- 電磁波の空中伝播の影響を避けるため、電磁波を発信する機器、ラジオなどはユニットより少なくとも3m以上離してください。
- 有機溶剤（シンナーやベンジン）の雰囲気（例、塗装場、クリーニング工場など）への据付は避けてください。
合成樹脂部品が溶解破損します。
- 室内ユニットは屋内設置仕様です。雨・水のかかる場所には据え付けしないでください。漏電・感電および故障の原因になります。
- 再熱除湿運転を行なうと吹出空気温度が吸込空気温度より高くなります。運転状態によっても異なりますが、約10～25℃上昇します。温度上昇が問題となる場合は、別途冷房や換気を考慮してください。
- 木材、薬品などの、特殊な雰囲気など次のような場所での使用および設置はしないでください。
多くの場合ユニットが故障する原因となります。
 - 油（機械油も含む）の飛沫・蒸気の多い場所
 - 海岸地帯の塩分の多い場所
 - 温泉地などの硫化ガスの多い場所
 - 酸性又はアルカリ性の雰囲気の場所
 - 可燃性ガス発生・流入などの恐れがある場所



除湿能力曲線

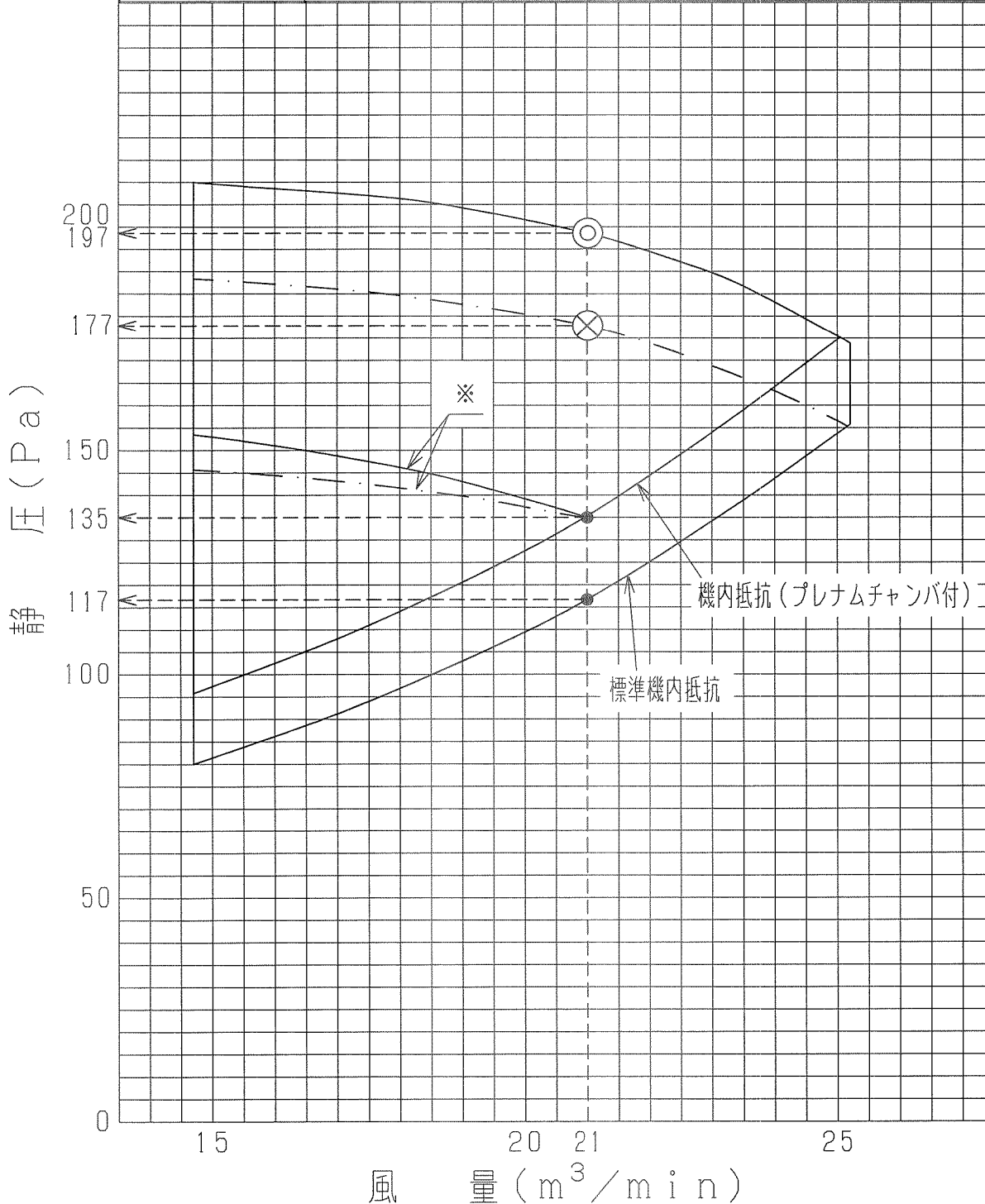




送風機特性曲線

— 50Hz
— 60Hz

線図名	送風機特性曲線	標準電動機出力; 0.15kW
形 式	UDP2W(C)	⊗ 点; I場出荷状態(50Hz) ⊙ 点; I場出荷状態(60Hz)



注) ※はプレナムチャンバ(形式 UD2-PC)に付属のコードにより、送風機回転数を調整した場合を示します。